

# 3月も役立つ講座がいろいろ!

## 子育てリフレッシュサロン

◆3月12日(木) 10:00~11:30  
 場所: 参画センター学習研修室 3  
 参加費: 無料  
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



## シングルマザーの会

◆3月22日(日) 13:30~15:00  
 場所: 参画センター学習研修室 3  
 参加費: 無料  
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



## 摂食障がい家族の会

◆3月21日(土) 13:30~15:00  
 場所: 参画センター相談室  
 参加費: 無料



## 男女共同参画のキーワード

### 「農業リーダーズサミット2025 変革の時代を生き抜く地域農業の在り方-女性登用の意義-」を初開催

令和7年11月27日(木)、農林水産省は、「変革の時代を生き抜く地域農業の在り方-女性登用の意義-」をテーマに、「農業リーダーズサミット2025」を初開催しました。

根本幸典農林水産副大臣は、女性は基幹的農業従事者の約4割を占める我が国の農業の重要な担い手であり、農業者の数が急速に減少する中で、女性が経営の主役となる農業経営体を増やし、さらに地域農業の重要な組織の意識決定にも女性が参画し、多様な意見が反映されることが、我が国の農業が持続的に発展していくために極めて重要である旨を訴えました。

#### <基調講演>

#### 「地域における女性登用の意義と組織トップの役割」

大正大学公共政策学科教授兼地域構想研究所所長の片山善博氏が講話されました。片山氏は、「男性が主要業務を担う」といった固定観念による弊害や県庁職員の性別による配属先の違いが職業経験差を生み、結果的に女性の管理職登用を阻んでいたこと等、鳥取県知事時代の事例も紹介しつつ、女性の登用は人事の公正性や男女で構成される社会との意識の齟齬を防ぐ観点等からも不可欠であること、女性登用の壁を打破するには、まずは



## 新に加入された登録団体のご紹介

### ◆NPO 法人丸亀街づくり研究所 アドボカシー事業所ここま

目的: 子どもの権利を尊重し、子どもが声を上げやすくする支援

活動内容: 児童養護施設訪問事業(ボランティア活動)、子どもアドボカシーについての研修、ミーティング

#### \*アドボカシーとは?

個人や団体が社会的課題や権利の擁護のために声を上げ、行動を起こす活動のこと。

### ◆STEP子育てサークル

目的: 親の交流

活動内容: 子育て支援



## 知ってる?



組織中枢部が変わることが重要である旨を言及しました。女性登用の実現に向けて、女性を含めた組織一人一人の意欲と能力が十二分に発揮できる組織作りに向けてリーダーシップを発揮していくことが組織トップの重要な使命であると訴えました。

#### <女性登用に向けたポイント解説>

(株)Will Lab 代表取締役 小安美和氏は、「この業種では難しい、この地域では難しい、女性には難しい」といった「決めつけ」からの脱却が、女性が地域や組織で活躍するために重要である旨を説明しました。



また、組織やリーダー層において女性が少ない場合、女性は女性全体を代表しているとのプレッシャーを感じやすく言動等が慎重になる傾向があるが、組織やリーダー層における女性の割合が35%を超えると、女性は周囲から性別ではなく個人として扱われるようになるため、本来の能力や個性を発揮しやすいとして、女性を一定割合登用することの大切さも訴えました。

一方で、「組織のリーダーは男性の方が向いている」と一定割合の女性も考えているという調査結果も紹介し、女性の活躍や登用には、男女双方が性別に関する無意識の思い込みの存在に気付き、乗り越えていくことが必要である旨を説明しました。(参考資料:内閣府 男女共同参画局「共同参画2月号」)

# 2月の行事から

2/1

## 市民企画講座Ⅷ 第7回香川吃音のついで

場所: 学習研修室1・2・3 参加者: 40人  
 講師: 川村 立さん(言語聴覚士)  
 企画運営: 香川言友会

「吃音支援を考えよう」をテーマに開催。前半は「ことばと学びの支援教室 まほろば」の言語聴覚士、川村立さんが「幼児期から成人期の支援~吃音で悩む人に寄り添える言語聴覚士でありたい」と題して講演しました。学齢期・青年期、成人期に分けて、それぞれ悩みの内容、支援方法、注意点などを具体的に話してもらいました。講師は、「どうか1人で悩まないでください。つらい時は他の人を頼ってほしい」と呼びかけました。

引き続き香川言友会会員の1人が体験談発表をしました。後半は、質疑応答。その後は、アイスブレイク「ボール回し」をやり、5グループで講演の感想、ついでに参加した理由などそれぞれの思いを語り合いました。(参加者の感想)

「息子の吃音が不安でしたが、勉強になりました」  
 「家庭で行う環境面での配慮がよく分かった」  
 「体験談発表も、とても心強く感じた」等多数。



2/8

## 市民企画講座Ⅸ 子どもをじょうぶにする食事は、時間もお金も手間もかからない

場所: 学習研修室 3 参加者: 25人  
 講師: 幕内秀夫さん(フーズ&ヘルス研究所主宰)  
 企画運営: 学校給食と子どもの健康を考える

「子どもが野菜嫌い何が悪い~間違いだらけの食育ブーム」「変な給食」などの著者である講師を招いて、食育講演会を開催しました。香川県が行っている小中学生の血液検査結果が何故改善しないのか、「おかずや野菜の話だけでなく、主食と飲み物の選択が大事」だということを具体的な理由をもとにわかりやすく解説してくださいました。(参加者の感想)\*以下「バランスについて今まで難しく考えていたと思う。朝食などを

見直すきっかけになりました」  
 「もうすぐ2歳になる娘が野菜を全然食べず、いろいろな本やネットでの情報を見て工夫しても食べず困っていました。すぐの思いでこの講演会を聴いて、すごく納得しました。悩んでいた気持ちがずっと楽になりました」  
 「給食の献立を考えている人や教育関係者、子どもと関わっている人にもぜひ聞いて欲しいと思いました」等多数。



## トピックス

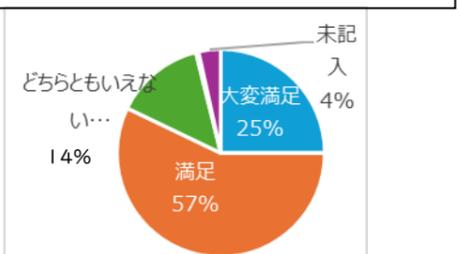
## 参画センターの利用者アンケートより(1)

調査期間令和7年10月17日~11月30日 ●アンケート回収数:464人(アンケートにご協力ありがとうございました。)

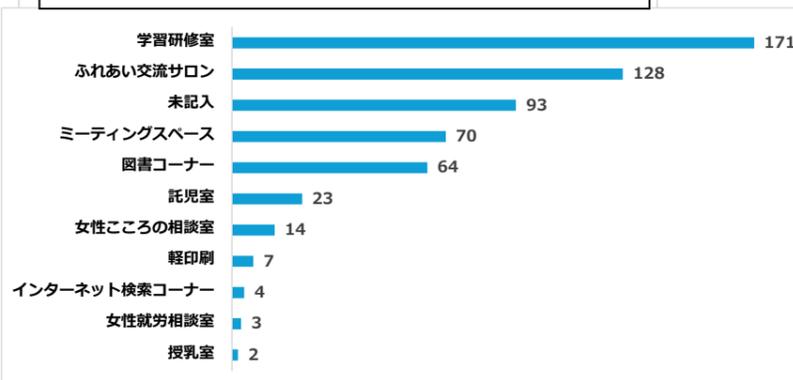
1.あなたの年代を教えてください。



2.男女共同参画センターの全体的な満足度を教えてください。



3.主にどの部屋を利用していますか?(複数回答可)



4.職員の対応(わかりやすさ、接し方)についてお聞かせください。

